

専門職業人としての倫理観を深める領域

人間の尊厳を守り倫理観を高め専門職業人としての倫理的な
判断をするための基礎的能力を養う

1 年次 後期	倫理学	講師名	川久保 学	必修	1 単位 15 時間
科目のねらい	社会におけるさまざまな規範（道徳哲学）の根拠について考え、「～はわるい」「～はよい」「～してはいけない」「～してもよい」「～すべきだ」「～すべきではない」等ということが、どうしてそう言えるのか、自分の規範的判断の理由を、他者の納得できる形で表現できるように考察していく。				

回数	授業計画	授業準備と復習
1	家族規範を考えるⅠ－国家主義道徳と尊属殺重罰規定	尊属殺重罰規定違憲判決について調べる
2	家族規範を考えるⅡ－家制度と夫婦別姓問題	夫婦別姓合憲判決について調べる
3	家族規範を考えるⅢ－婚姻制度と非嫡出子相続差別問題	非嫡出子相続差別違憲判決について調べる
4	女性のライフコースⅠ－3つの女性論争	良妻賢母規範について調べる
5	女性のライフコースⅡ－性別役割分業と結婚規範	近代家族について調べる
6	目的論と平等－サnderとロールズ	エンハンスメントについて調べる
7	正義の倫理とケアの倫理－コールバーグとギリガン	認知発達理論について調べる
8	評価とまとめ	

履修要件	授業科目の学修の評価等に関する規程 第2条のとおり
学習上の留意点	キーワードをしっかり把握しながら学習して下さい。
評価方法	授業への参加姿勢、最終レポートで総合的に判断します。
テキスト	講義で必要資料を配布します。
参考文献	鷲田清一『〈弱さ〉のちから－ホスピタブルな光景』講談社学術文庫
備考	随時、VTR等を利用してビジュアルな講義を工夫するとともに、双方向的・対話的な学びの中で、「よく生きること」の意味を深く考え直す練習をします。

1 年次 後期	情報リテラシー I	講師名	須藤 真由美	必修	1 単位 15 時間
科目のねらい	高度情報社会における様々な情報を適切に処理する力や活用に役立てる力を高めるために、情報科学の基礎・各種アプリケーションの基礎を学ぶ。あわせて情報の活用に伴う倫理的な課題についても考え、適切な情報活用の力を養う。				

回数	授業計画	授業準備と復習
1	情報科学概論、コンピュータの構成	USB メモリー（1 GB 以上）を準備し、必ず持参してください。
2	コンピュータの基本操作	Word
3	情報倫理 I（ネットの利用）	Word
4	情報倫理 II（情報セキュリティー）	Word
5	情報倫理 III（知的財産権）	PowerPoint
6	情報倫理 IV（個人情報保護法）	PowerPoint
7	医療情報システム、看護情報システム	Excel
8	評価・まとめ	

履修要件	授業科目の学修の評価等に関する規程 第 2 条のとおり
学習上の留意点	講義・演習内容は積み重ねです。 講義ごとに必ず復習をし、理解したうえで次回の講義に臨んでください。
評価方法	試験 50%、最終課題レポート 40%、演習への取り組み 10%
テキスト	「医療・看護系のための情報リテラシー」 松木秀明・須藤真由美・松木勇樹著 東京図書
参考文献	
備考	

3 年次 前期	情報リテラシーⅡ	講師名	須藤 真由美	必修	1 単位 15 時間
科目のねらい	様々な情報を適切に処理する力や活用役立てる力を高めるために、各種アプリケーションの学習をもとに、エビデンスに基づいた医療・看護の実践のための統計学の基礎を学ぶ。				

回数	授業計画	授業準備と復習
1	統計学の基礎	Excel
2	アンケート処理	Excel
3	基本統計	Excel
4	分布とグラフ	Excel
5	t 検定	Excel
6	χ^2 検定	Excel
7	相関と回帰	Excel
8	評価 まとめ	

履修要件	授業科目の学修の評価等に関する規程 第2条のとおり
学習上の留意点	講義・演習内容は積み重ねです。 講義ごとに必ず復習をし、理解したうえで次回の講義に臨んでください。
評価方法	試験 50%、最終課題レポート 40%、演習への取り組み 10%
テキスト	「医療・看護系のための情報リテラシー」 松木秀明・須藤真由美・松木勇樹著 東京図書
参考文献	「医療統計学」 松木秀明・須藤真由美・松木勇樹著 東海大学出版部
備考	

3 年次 前期	キャリア教育	講師名	学校長	必修	1 単位 15 時間
科目のねらい	専門職業人とは何かを学び、自分自身の将来に向けたキャリア開発を考える力を養う。				

回数	授業計画	授業準備と復習
1	専門職業人とは何か	
2	専門職業人としての責務 ・自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について 個人としての責任を持つ ・常に個人の責任として、継続学習による能力の維持・開発 に努める	「看護者の倫理綱領」を読み込む
3	キャリア開発の考え方① ・キャリア開発は個人と組織の相互作用	
4	キャリア開発の考え方② ・生涯学習 ジェネラリストとスペシャリスト	
5	先輩から学ぶ キャリアプラン ・卒後 2 年目・卒後 5 年目・卒後 10 年目	
6	先輩から学ぶ キャリアプラン ・病院に勤務する看護師 ・老人保健施設に勤務する看護師 ・訪問看護ステーションに勤務する看護師	
7	私のキャリアプラン 演習	自分自身のキャリアプランを想起する
8	評価とまとめ	

履修要件	授業科目の学修の評価等に関する規程 第2条のとおり
学習上の留意点	キャリアはその人が人生を通して形成するものです。自分自身のキャリアを形成していくためにはどのようなことが求められるのかを主体的に考えるように臨んで下さい。 また、看護師を目指す皆さんにとって、自分自身のキャリアをどのように形成するのかを考えることは、自分の人生を描くことにつながる大切な一歩となることでしょう。積極的に講義・演習に取組み、自分自身で自分のキャリアを描き、今後の学習に活かしていくことを期待します。
評価方法	レポート・出席状況・提出物による総合評価
テキスト	系統看護学講座 看護管理 看護の統合と実践 1 医学書院
参考文献	随時提示
備考	

4 年次 全期	医療・看護倫理	講師名	田中 知雄 塩澤 綾	必修	1 単位 30 時間
科目のねらい	人間の生命や医療・看護とは何かについて、倫理的・社会的立場から理解を深め、医療者としての自己のあり方を見つめる機会とする。代理出産・遺伝子治療など生命倫理の観点からも学び、倫理原則について考察する。				

回数	授業計画	授業準備と復習
1	看護学校で医療・看護倫理を学ぶことの意味 「倫理」とは何か	
2	「生命」のイメージ 生命倫理の諸問題①	
3	「生命」はこれまでどう考えられてきたのか 生命倫理の諸問題②	
4	「生命」の価値基準とは何か 生命倫理の諸問題③	
5	「生命」倫理の4原則 生命倫理の諸問題④	
6	医療の現場における生老病死① 生命倫理の諸問題⑤	
7	医療の現場における生老病死② 生命倫理の諸問題⑥	
8	「生命を大切にすること」ということ 講義のまとめ	
9	看護倫理①	
10	看護倫理②	
11	看護倫理③	
12	看護倫理④	
13	看護倫理⑤ 事例検討	
14	看護倫理⑥ 事例検討	
15	看護倫理⑦ まとめ	

履修要件	授業科目の学修の評価等に関する規程 第2条のとおり
学習上の留意点	看護倫理では各看護学実習での体験を踏まえながら倫理について考えていくので、看護実践を行う際には倫理的視点でも考える訓練をして授業に臨む。
評価方法	出席状況・提出物・レポートによる総合評価
テキスト	随時提示
参考文献	随時提示
備考	